



「全てのサイトを、全てのモバイルへ」

～ 製品のご紹介 ～

株式会社アイ・エヌ・ジーシステム  
<http://www.ingsystem.co.jp/>

All Rights Reserved by ING System Co. Ltd.



1. はじめに～モバイルサイト開発の現状
2. brieってなに？
3. キャリアの壁を超える～テキスト変換
4. 高品質で多彩な表現～画像変換
5. brieを集中管理～コントロールパネル
6. いつでも最新～自動アップデート
7. 様々な構成に柔軟に対応～サイトディレクトリ設定
8. お問い合わせ

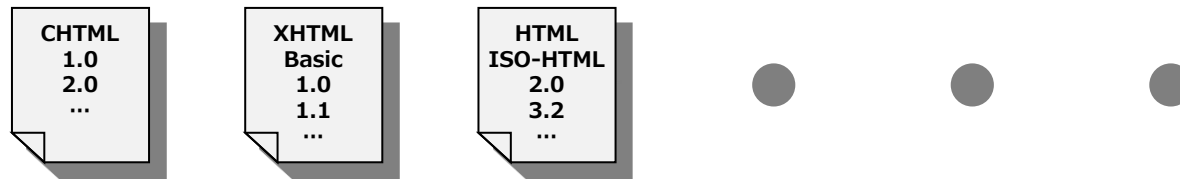
# 1. はじめに～モバイルサイト開発の現状

すべての携帯端末に対応したモバイルサイトを実現するためには、キャリア別、端末ごとにサイトを開発する必要があります。



キャリアごとに言語仕様が異なっているため、その違いを考慮したサイト開発はとても煩雑になります。

また、各キャリアの中でも言語仕様にバージョン違いがあり、こういった細かい仕様の違いを把握したうえでサイト開発するためにはノウハウが必要となり、専門的な技術を持った開発者でないとサイト開発が困難になります。



更にキャリアごとに仕様の違う絵文字コードであったり、CSSの仕様の違い、CSS自体が使用できる・できないといった違い、などサイトデザインには欠かせない要素にも細かな仕様の違いが存在し、開発をより煩雑にしています。

これ以外にも各携帯端末にはそれぞれ違ったキャッシュ容量の制限があり、容量オーバーさせないためには細かなサイズ計算とコンテンツリソースの管理が必要となり、開発が更に複雑化していく要因となっています。

画像においても各キャリア、端末ごとにファイル形式の違い、端末ごとに表示できる画面サイズの違いなど、テキストや絵文字以上に複雑で多くの仕様の違いにより、さらにサイト開発を困難なものにしています。

**brie を導入することにより、これらの問題を解消できます！**

## 2. brieってなに？

brieとは、モバイル向けに作成されたサイトを、すべてのキャリアのモバイル端末に対し最適なコンテンツ変換を行う、ゲートウェイ型のコンテンツ変換製品です。

各キャリアで異なるマークアップ言語仕様、画像形式、絵文字の変換機能はもちろん、各モバイル端末画面にフィットした画像への変換や待受け画像の生成、通常では表示できない大きなファイルサイズのコンテンツを表示可能にするページ分割機能など、便利で多彩な機能を搭載しています。



モバイルサイトは一つだけ用意すればよく、キャリアや端末ごとに作り分ける必要がありません。

また、画像変換機能により画像の幅高さ、ファイル形式、ファイルサイズなどを端末やコンテンツ構成に応じて最適な画像に変換しますので、画像をわざわざ作り分ける必要がありません。

これらの多彩で便利な機能により、手間をかけず、短い期間でサイト開発を行うことができますので、キャリアや端末ごとに作り分ける従来の手法より遥かに低いコストでモバイルサイトの構築・運用が実現できます。

### 3. キャリアの壁を超える～テキスト変換

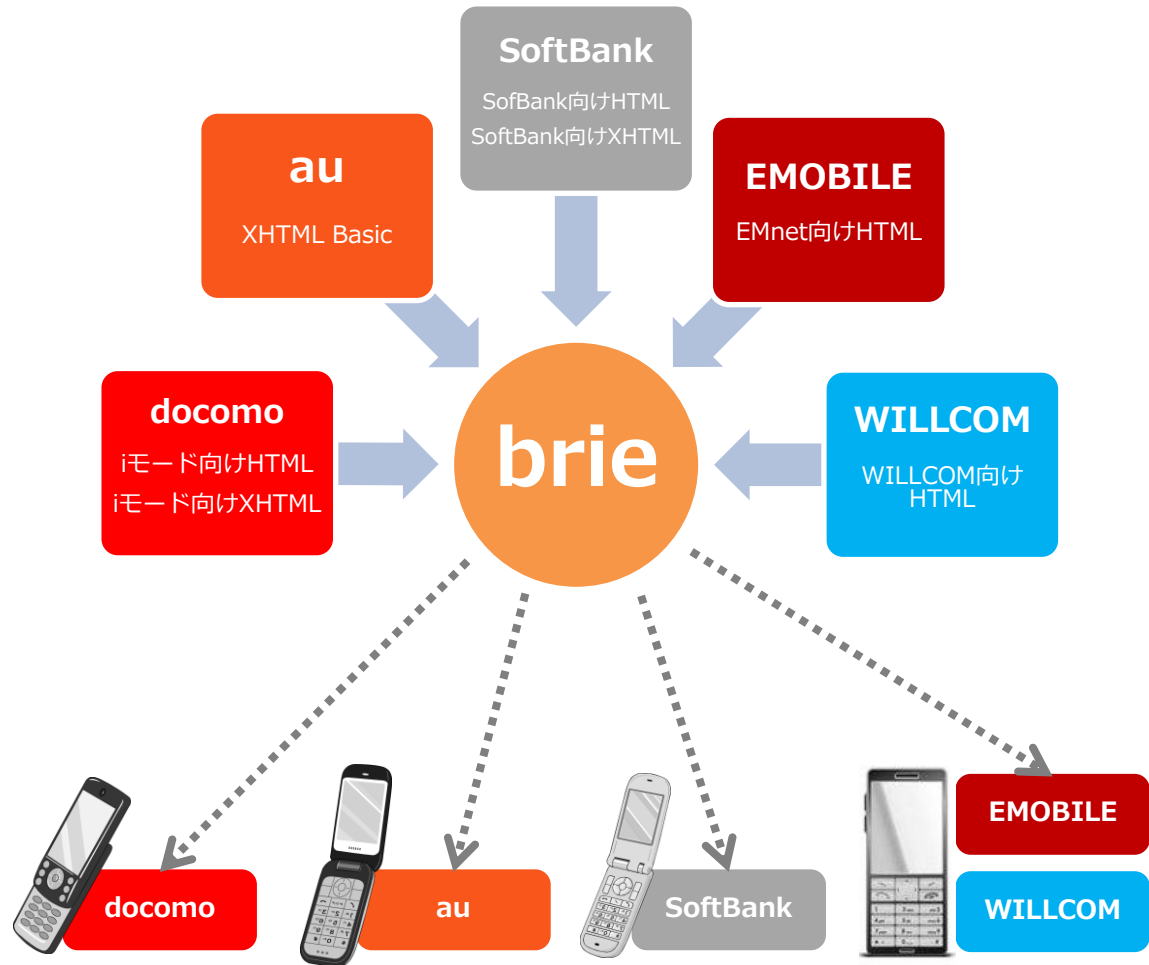
#### ① キャリアフリー言語変換

変換元サイトはひとつ作るだけで、後はbrieが変換します

変換元サイトのマークアップ言語は混在していても問題ありません

スタイルシート (CSS) を端末の仕様に合わせて変換します

文字コードの変換にも対応します



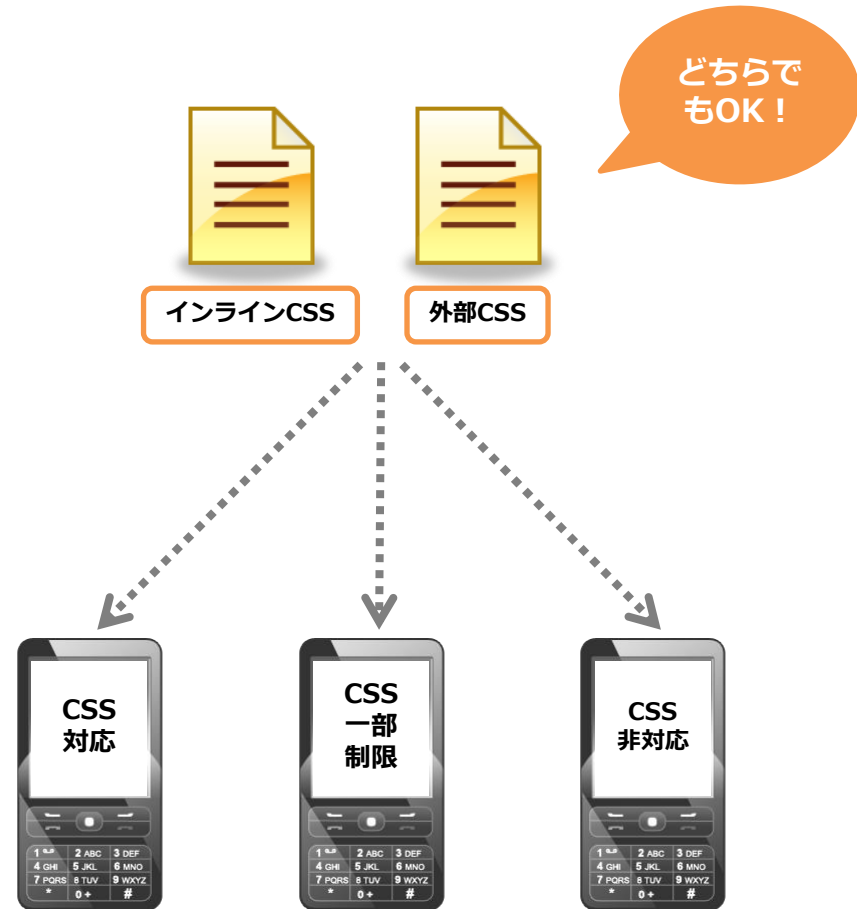
### 3. キャリアの壁を超える～テキスト変換

#### ② スタイルシート変換

外部CSSを利用したサイトの場合でも対応が可能です

一部CSSの内容に制限のある端末には代用可能なタグの追加で対応します

その他CSSに対応していない端末には近い表現をタグで再現します



### 3. キャリアの壁を超える～テキスト変換

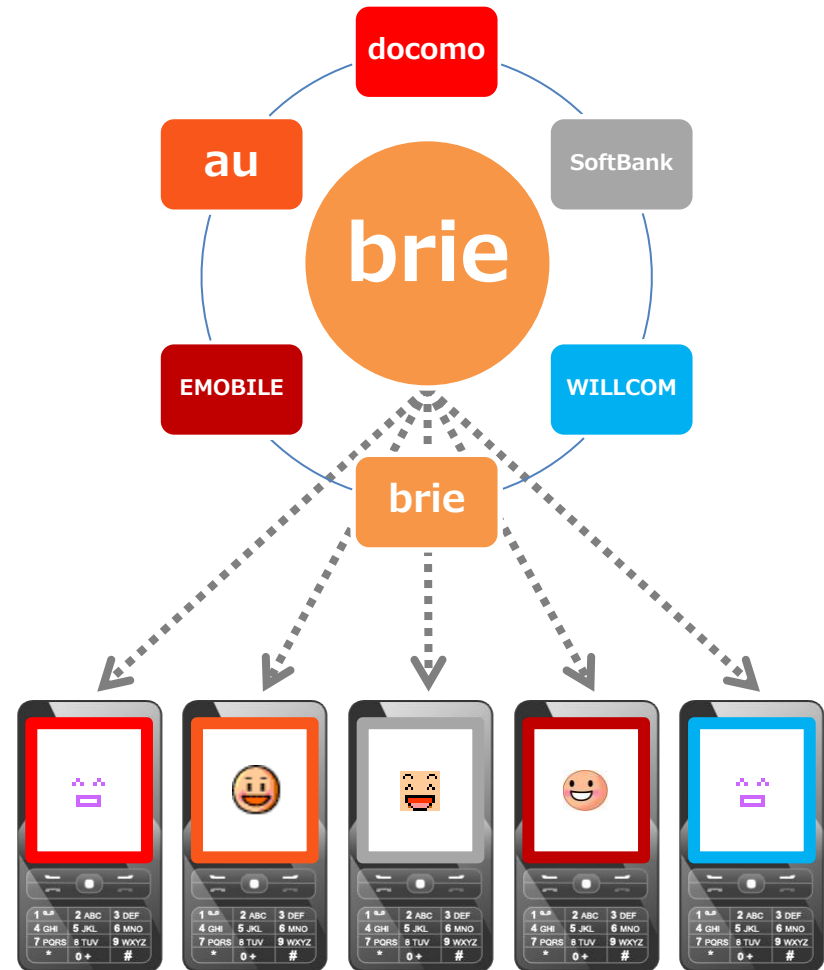
#### ③ キャリアフリー絵文字変換

どのキャリアの絵文字コードを使用しても、最適な変換（相互変換）が可能です

brieオリジナル絵文字の採用で、より簡単に絵文字コードの指定が可能となります

絵文字のない端末（スマートフォンやPC）には画像※で絵文字を再現します

※ 弊社オリジナルの絵文字画像



### 3. キャリアの壁を超える～テキスト変換

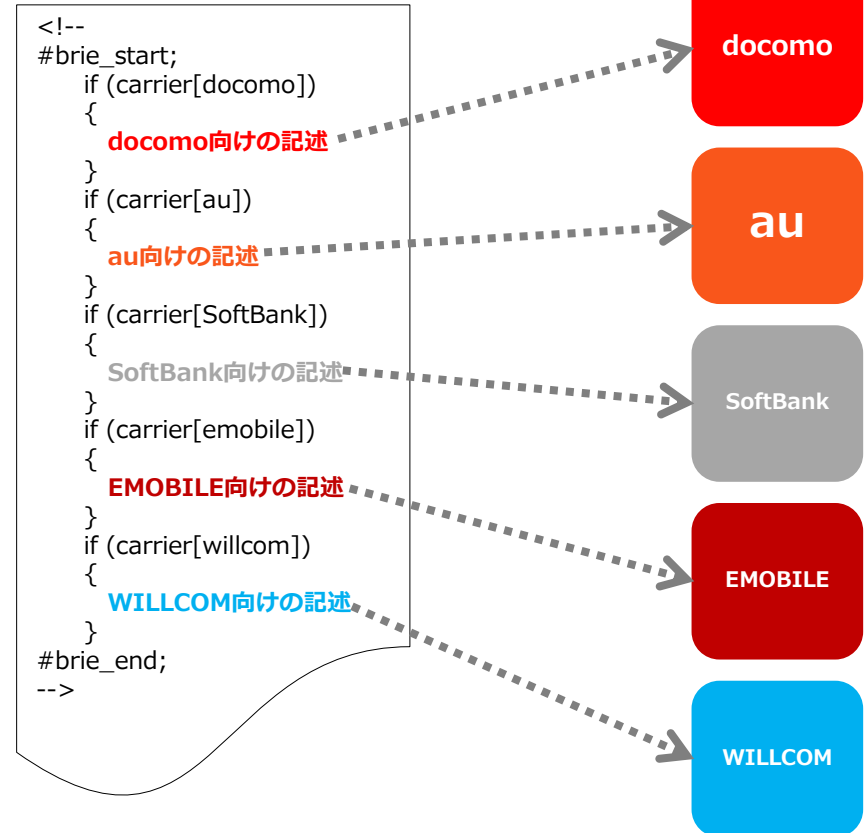
#### ④ スイッチングビュー

任意の条件を指定することで、表示させる内容を端末によって切り替えることができます

指定できる条件はキャリアだけでなく、その他にも多数指定することが可能です※

※ 例えば、端末名、キャッシュサイズ、Flash対応 など

コメントタグによる記述のため、brieを使用しない場合でも本来のコンテンツに影響を及ぼしません





### 3. キャリアの壁を超える～テキスト変換

#### ⑤ ページ分割

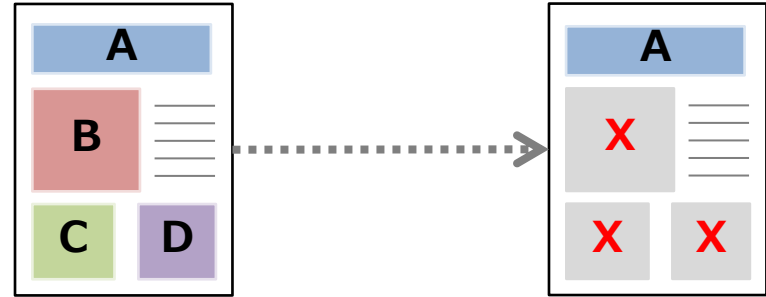
端末ごとのキャッシュサイズを判別してサイズオーバーとならないように自動で分割します

タグの途中など、表示が崩れてしまう不自然な位置での分割は行いません

分割時に挿入されるナビゲーションリンクの文字列を任意で指定できます

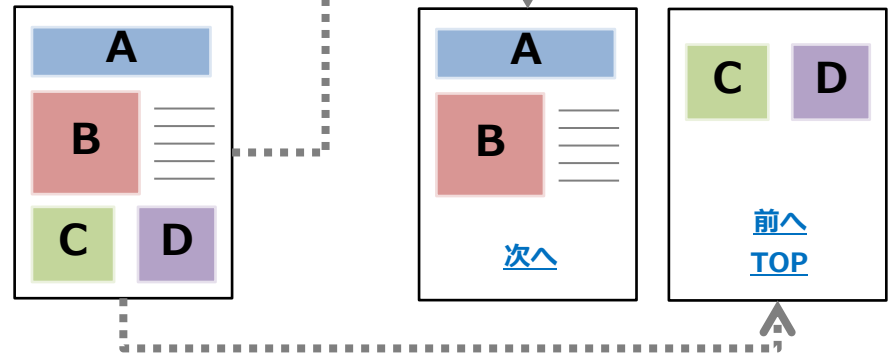
分割させる位置を任意で指定することや、自動で分割させないという指定も可能です

そのままだと…



…すべて表示できないページでも

ページ分割を行えば…



…すべて表示できます

## 4. 高品質で多彩な表現～画像変換

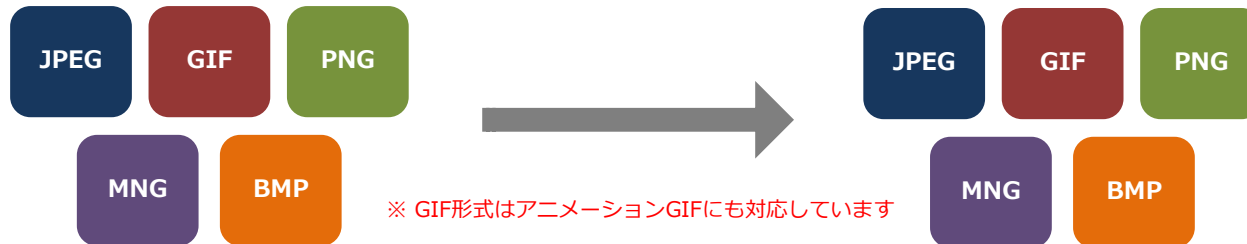
### ① 画像リサイズ・フォーマット変換

端末で画像を表示するには、“幅” “高さ” “画像形式” “ファイルサイズ” がそれぞれの端末仕様を満たしている必要があります。brieでは画像を変換するために必要な情報をデバイスプロファイルに保持しているため、ユーザーが意識することなく、端末ごとに最適な変換を自動的に行います。

元画像



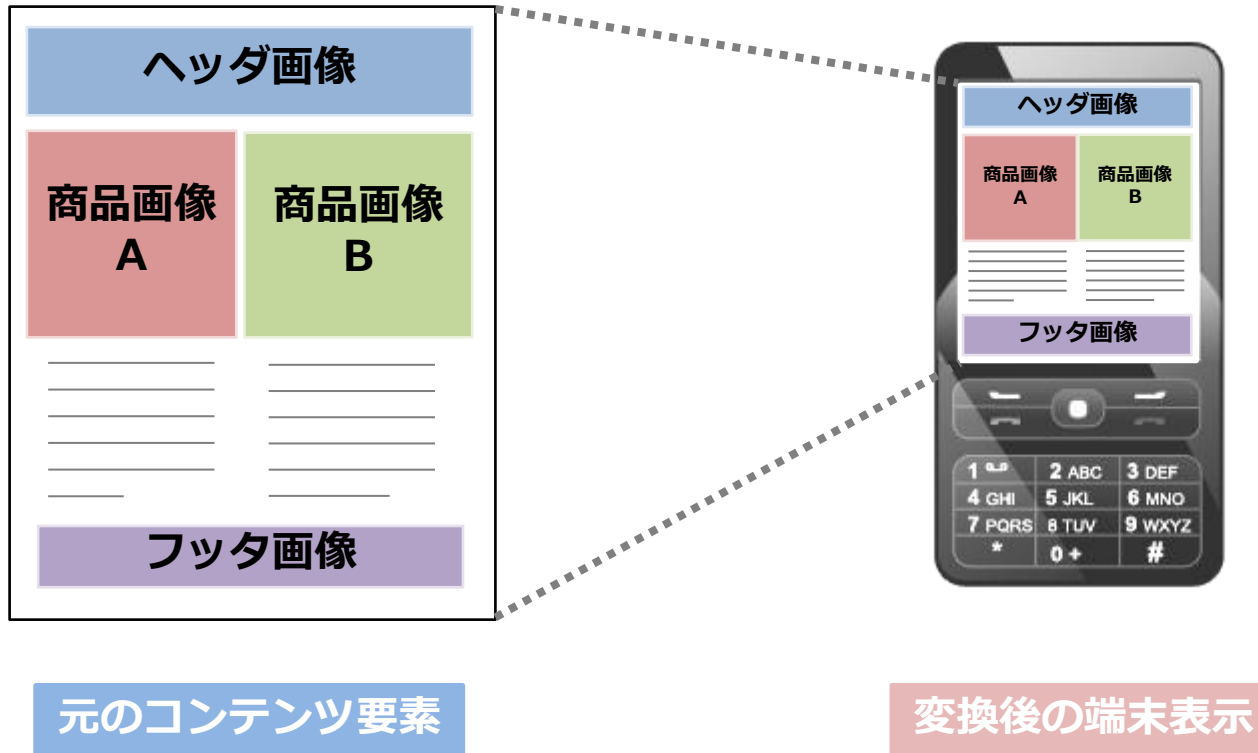
変換後



## 4. 高品質で多彩な表現～画像変換

### ② 最適で美しい画像変換

brieでは独自に開発した画像最適化アルゴリズムにより、全てのコンテンツファイルサイズを正しく把握したうえで、保持しているデバイスプロフィールに照らし合わせて端末ごとに正確なサイズ計算を行い、全ての要素を表示することはもちろん、画像については表示可能かつ高品質な状態に変換を行いますので、端末の性能をフルに活かした表現が可能となります。



## 4. 高品質で多彩な表現～画像変換

### ③ その他の便利な機能

編集・加工系	
画像クロッピング	画像から任意の切り出し点を中心に切り出しを行います
画像合成	元画像にスタンプやロゴ、フレームなどの画像を自動的に合成します
テキスト合成	元画像を2.5ブロックに分割した任意のポジションに指定した文字列を貼り付けることができます
画像サイズ指定	画像変換する幅や高さをピクセルによる直接指定、または、ブラウザ表示サイズの割合(%)で指定することができます
拡大	元画像が端末のブラウザ表示サイズ、または待受けサイズよりも小さい場合に、画像を拡大することができます
画像フィルター	元画像に対してイメージ処理(モノトーン、グレースケール処理、ネガ処理、エンボス処理)を施すことができます
余白カラーリング	変換した画像がブラウザ表示サイズ、または待受けサイズに対して完全にフィットしていない場合、その余白部分を任意の色で塗りつぶすことができます
生成系	
待受け画像	端末ごとの待受けとして使用できる画像のサイズ(待受けサイズ)に合わせて元画像を変換します
サムネイル画像	端末に表示したいサムネイル画像の数と並べる方向(縦か横)を指定することで、画面表示サイズに対して指定した画像数を表示できる画像サイズに変換します
QRコード画像	指定した任意の文字列を元にQRコード画像を生成することができます
その他	
コピーガード	画像のメール添付、外部メモリへのデータ転送、本体保存の制御を行います
無変換	画像を全く変換したくない場合に、無変換指定をすることで元画像のまま端末へ配信を行います
ノーキャッシュ	本体設定とは別に、画像ごとにキャッシュをしないように設定することができます

# 5. brieを集中管理～コントロールパネル

brieの設定や操作はすべて、WEBブラウザを使ってコントロールパネル上で行いますので、複雑なコマンド入力による操作を行うことなく、日頃お使いのWEBブラウザで簡単に操作・設定ができます。

また、様々な設定だけでなく、ログの参照や各種アップデートなど、brieに関するすべてをWEBブラウザひとつで集中管理することができますので、運用の手間とコストの削減が実現できます。

**brie Control Panel**

MENU

- トップページ
- サイト設定
- システム管理
- ネットワーク設定
- モニター
- アップデート
- 起動/停止
- バックアップ/リストア
- 設定初期化
- デバッグログ機能
- 接続テスト
- ログアウト

トップページ

▼ インフォメーション

保守契約期間は、2010年 9月30日までとなっております。

▼ システム情報

Name	Version
brie	Ver. 1.0.0 (build 20100517)
ファームウェア	Ver. 1.0 (build 20100517)
実機用OS	Ver. 1.0 (build 20100517)

▼ テキスト交換基本機能情報

テキスト交換 ON/OFF  ON  OFF

実機対象ディレクトリ

文字コード実装機能 ON/OFF  ON  OFF

実機元サイトの文字コード Shift\_JIS

総文字種別指定 ON/OFF  ON  OFF

総文字種別 docomo SoftBank au EMOBILE 共通総文字

変更予約 | サイト一覧 | ディレクトリ一覧

Copyright (C) 2010 ING System Co., Ltd. All Rights Reserved.

**brie Control Panel**

MENU

- トップページ
- サイト設定
- システム管理
- ネットワーク設定
- モニター
- アップデート
- 起動/停止
- バックアップ/リストア
- 設定初期化
- デバッグログ機能
- 接続テスト
- ログアウト

▼ サイト基本情報

サイト名 www.brie-demo.com

HTTP機能 ON/OFF  ON  OFF

HTTP受信IPアドレス \*

HTTP受信ポート番号 80

変更予約 | サイト一覧

▼ 自動アップデート設定

自動アップデート機能 ON/OFF  ON  OFF

自動アップデート曜日  日  月  火  水  木  金  土

自動アップデート時刻 5 時 0 分

▼ アップデート設定情報

ファームウェア ON/OFF  ON  OFF

実機ルール ON/OFF  ON  OFF

デバイスプロファイル ON/OFF  ON  OFF

変更

Copyright (C) 2010 ING System Co., Ltd. All Rights Reserved.

## 6. いつでも最新～自動アップデート

変換システムの性能向上や機能追加によるファームウェアの更新、新しい携帯端末に対応するためのデバイスプロファイルの更新を自動的に行うことができます。

アップデートには、時間を指定し定期的にアップデートの確認を行う「自動アップデート」と、任意のタイミングで随時アップデートを行う「手動アップデート」、また、外部ネットワークに接続ができない環境の場合にローカルにあるファイルでアップデートを行う「ファイルアップデート」の3種類があり、状況に応じて選ぶことが可能です。

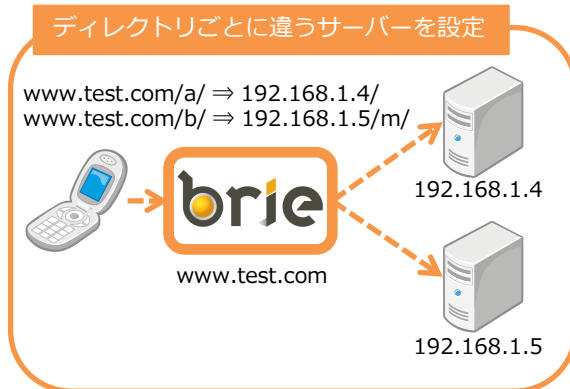
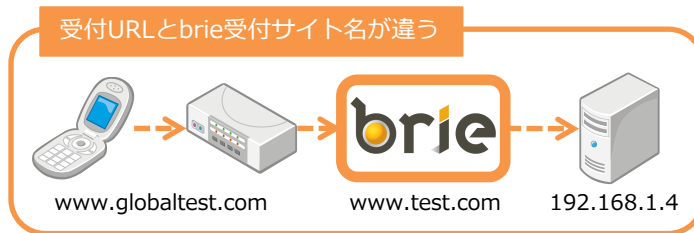
アップデートファイルは弊社のアップデートサーバーからSSL通信で配信され、ファイル自体も暗号化されていますので安心して運用していただけます。

また、デバイスプロファイルは、新しい携帯端末の発売日から原則5営業日で配信されますので、自動アップデートを行うように設定していれば新端末への対応を意識する必要がありません。



## 7. 様々な構成に柔軟に対応～サイトディレクトリ設定

brieを、すでにモバイルサイトを構築済みで運用している環境に導入する場合や、他のモバイルコンテンツ変換システムを使って運用している環境に新たな変換システムとしてbrieを導入して置き換える場合などに、サイトディレクトリ設定を使って手間のかからないスムーズな導入が可能となります。



ここで紹介しているのはほんの一例で、これ以外にも様々な構成に対応することができます。

また、設定したディレクトリごとに異なるコンテンツ取得先を指定することや、テキストや画像の変換設定などもディレクトリ単位で設定することが可能なので、状況に応じた柔軟な運用に対応できます。

### ■ brie製品サイト

<http://brie.ingsystem.co.jp/>

本製品に関するお問い合わせは、弊社営業担当までご連絡ください。

## 株式会社 アイ・エヌ・ジーシステム

担当部署 : 営業統括部

所在地 : 〒110-0016 東京都台東区台東1-11-10 大木ビル3F

TEL : 03-3835-9391

EMAIL : [brieinfo@ingsystem.co.jp](mailto:brieinfo@ingsystem.co.jp)

URL : <http://www.ingsystem.co.jp/>





■ **brieデモサイト**

[http://brie.ingsystem.co.jp/demo/brie\\_intro/](http://brie.ingsystem.co.jp/demo/brie_intro/)

※メンテナンスのため予告なく停止することがあります